

2011年6月17日作成

学びあい、伝え合うために さあ、学びの場をつくりましょう!

組合員理事ゼミナール「学びをデザインする」まとめ読本



 **FCO·OP**

はじめに

エフコープでは、「学び」を重要な課題としてとらえ、2010年度、地域と協同の研究センター理事の兼子厚之氏を講師に招き、「学びをデザインする」をテーマに組合員理事みんなで話し合いました。

この報告書は、そこで話し合われた内容の一部を整理し、まとめたものです。さまざまな活動の中で、「学び」が実感できる場を皆さんと一緒に作っていきたいと考えています。いろいろな学びの場を持つとしたとき、考え・行動し、共感・実感するための手引きとして活用していただけると幸いです。

1 学びってどんなもの？

私たちは、なんのために学ぶのでしょうか。人は、学びによって新たな知識を身につけ、経験を重ねていくことで、人間らしく豊かに「生きる力」を育むことができます。

学びは、協同行動を通して、共感を生み出し、よりよい暮らしとよりよい社会を創る大きな力をもっています。

(1) 学びたいと思っていますか？

- 知識を得る
- 知る喜び
- 気づき
- 発見
- 新しい経験・体験
- 共感
- 感動
- 生きる糧



自発的な学びたい思いは、私の成長につながります。

(2) なんのために学ぶの？

- 自己実現
- 自己成長
- 知りたい欲求を満たす
- よりよく生きるため
- 幸せになるため



生きていくうえで大切なものであり、自分のため、みんなのため、世界平和のため。

(3) 学びの結果として

- 情報の共有
- 相互理解
- 共通認識
- 人を知る
- 知らない自分を知る
- コミュニケーション



自分の概念や思い込みを捨てることにより、他者への思いやりが生まれ、私は成長していける。共通認識を作り、お互いの理解を深めることでよりよい暮らしとよりよい社会を創る大きな力となっていく。

2

豊かな学びの場をみんなで作っていきましょう

みなさんは、学びの場をつくっていくために、日頃どのようなことを大切にしていますか。

学びは、「学習会」や「研修」など、学習を目的にした場のみに限って作りだされるものではありません。区域委員会やクラブの集まり、日常的なちょっとした集まりの中でもみんなの意識で豊かな学びの場を作りだすことができます。

(1) 開放された空間をつくる

＜学びの場を豊かにしていくために＞

- 自由に発言できる空間をつくる。
- 発言するときには、他者への思いやりや配慮を忘れずに。
- 心から相手の言葉に耳を傾けて、理解する努力をし、違いを認め合いましょう。



参加者全員の一致した意思が開放された空間を作りだします。

(2) 気づきを大切にする

＜より豊かな学びを得るために＞

- 驚き、喜び、感動がたくさんある気づきを生みます。
- 情報提供型の学びだけでなく、気づきがたくさんある学びを工夫しましょう。
- 「自ら考え、発見する」プロセスも大切に。

(3) 学びあいを大切にする

＜共感や相互理解を深めるために＞

- 自分の考えは、いったん保留し、素直に学ぶ姿勢が大切。
- 他者の立場や背景に思いをめぐらせ、異なる角度から考えてみることも大切。
- 答えのない学びも尊重しよう。
- 学ぶ喜び、知る喜びをわかちあいましょう。

3 学びの場を企画しよう！

(1) 計画→準備→実施→振り返り

それぞれの思いを一つにし、目的を明確にしていくために、話し合いを重ね、楽しみながら準備をすすめていきましょう。

	項目	ポイント
①	イメージあわせ	<ul style="list-style-type: none">どのような学びの場をつくりたいのか、思いを出し合い、みんなで話し合しましょう。
②	開催目的	<ul style="list-style-type: none">開催目的や目標を明確にしておきましょう。事前のお知らせや当日の場でも開催目的を伝えましょう。
③	参加の対象	<ul style="list-style-type: none">対象者は、開催目的や目標にあうように、絞り込みましょう。
④	開催日時	<ul style="list-style-type: none">参加対象者が参加しやすい日時で設定しましょう。行事等が重なっていないかも気をつけましょう。
⑤	参加人数	<ul style="list-style-type: none">会場の収容人数・設備集まりやすさ交通の利便性料金託児、飲食の可否 などを確認しましょう。
⑥	開催場所	<ul style="list-style-type: none">予定の参加人数・託児人数を決めましょう。応募者多数の場合の取り扱いも決めておきましょう。たとえば抽選やそのお知らせ方法など。
⑦	お知らせ方法	<ul style="list-style-type: none">広報媒体を決めましょう。発行日程を決め、それに間に合うように作成しましょう。
⑧	事前準備	<ul style="list-style-type: none">会場予約、託児の手配、備品準備、ニュースやアンケートの作成などの役割分担を明確にし、事前準備を行いましょう。
⑨	タイムスケジュールと役割分担	<ul style="list-style-type: none">当日の集合時間やタイムスケジュールを決めましょう。司会やあいさつなどの役割分担を決めましょう。
⑩	振り返り	<ul style="list-style-type: none">感想文やアンケートの記入など、参加者が学びを振り返る機会をつくりましょう。計画から当日までの反省を出し合い、次につなげましょう。

「学びの場」を企画しよう！シート

①イメージあわせ ②開催目的

③参加の対象

④開催日時

⑤参加人数

⑥開催場所

⑦お知らせ方法

(例)

- 区域委員会ニュース
 - ・ 配布日
 - ・ 原稿締切日
 - ・ 担当
- お店ポスター
 - ・ 担当
 - ・ 作成日

⑨タイムスケジュールと役割分担

(例)

時間	内容	担当
10:00-	あいさつ	委員長

⑧事前準備

⑩振り返り

- 今日の反省は・・・
- 次につなげるためには・・・

○実施(P5を参照)

(2) 主催者が大切にしたいこと

学びのニーズ

- ・ 学びのニーズを知り、その本質をつかみ、その本質に応えた学びの場をつくる。

きっかけづくり

- ・ 最初の一步となるきっかけを提供する。
- ・ そのためには、敷居を低く、そして共感や感動のある場をつくる。

開放感・安心感

- ・ 自由に発言できる開放感、問い詰められたり、批判されたりしない安心感をつくる。
- ・ 思いやりと優しさに包まれた空間をつくる。

学ぶ喜び・知る喜び

- ・ 学ぶこと、知ることの喜び、そして成長が実感できるようにする。
- ・ わくわくどきどき感を大切にす

気づき

- ・ 参加者の気づき(発見)を大切に

- ・ 主催者側からの説明だけでなく、気づきを促すヒントを提供する。

共感

- ・ 意見交換による共感や相互理解による共感を大切にする。
- ・ 内発的な一体感を大切にする。

ポジティブシンキング

- ・ 前向きな思考を大切にする。
- ・ 批判的に捉えた場合でも、そのなかでの解決策を前向きに考え、発言する場の空気を大切にする。

(3) 参加者に大切にしてほしいこと

参加のマナー

- ・ 遅刻をしない。
- ・ 携帯電話は、マナーモードで。
- ・ 私語は慎む。

学びあい

- ・ 自分を開く。
- ・ いったん保留し、素直に学ぶ。
- ・ 学びあいを大切にする。

思いやり

- ・ 他者を思いやる。
- ・ 自分の考えを押し付けない。
- ・ 他者の考えや発言を尊重する。

4

学び、共感、そして行動へ

よりよい暮らしとよりよい社会を実現するためには、暮らしにおけるさまざまな場面で、学びと共感をつくりだし、それらを力に、行動へと結びつけていくことが大切です。そのためには、行動するために何ができるのか、自分でも考えることが重要です。

学びの場をつくっていくプロセスも楽しみましょう。そして、その中で感じた感動・感激を分かち合い、協同の輪を広げ、行動へとつなげていきましょう。



以上、お役に立てていただければ幸いです。

【作成】

組合員理事ゼミナール報告書作成チーム

【お問い合わせ先】

エフコープ生活協同組合 機関運営・広報部

〒811-2495

福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗 4826-1

Tel: 092-947-9001 Fax: 092-947-9192